

## 通砂基準の見直しに向けた試験通砂実施！！

平成18年7月13日～15日にかけて、平成18年度連携排砂計画で位置づけていました、**試験通砂**を実施しました。

### 試験通砂とは

連携排砂実施機関では、排砂・通砂の基本は、排砂・通砂による環境への影響を小さくするため、自然の出・洪水にあわせて、できるだけ自然に近い形でダムへの流入土砂を下流に排出することであると考えています。

そのため、通砂実施基準流量を引き下げた試験的な通砂を行い、環境への影響や効果について、検討するために実施するものです。

○試験通砂の実施基準流量については、以下とおりです。

- ・ 出し平ダム：現行480 m<sup>3</sup>/s → 300 m<sup>3</sup>/s
- ・ 宇奈月ダム：現行650 m<sup>3</sup>/s → 400 m<sup>3</sup>/s

今回の試験通砂の特徴は、以下のとおりです。

### 1. 自然流下時間を出し平ダム4時間、宇奈月ダム3時間で実施

試験通砂実施時の自然流下時間については、宇奈月ダムでは、現行の通砂では12時間としていますが、試験通砂では、出し平ダム4時間、宇奈月ダム3時間としました。

今後、試験通砂中に実施した環境調査やこれから実施する貯水池測量の結果をもとに、試験通砂の効果等について黒部川ダム排砂評価委員会で評価していただくことにしております。

### 2. 愛本合口堰堤からの取水停止時間は過去最短

今回の連携試験通砂では、過去最短の27時間48分でした。【資料-1】これまで、平成17年7月の第2回連携通砂時の31時間00分が最短でした。

これは、現行の通砂においては宇奈月ダムの自然流下時間を12時間としていますが、今回の試験通砂では3時間に短縮したことによるものです。

### 3. 連携試験通砂実施時に魚の退避場（やすらぎ水路）の効果を調査

今年7月1～3日の連携排砂時と同様に今回も連携試験通砂時に、魚の退避場の効果を4カ所で現地にて調査を実施しました。（資料－2）

調査方法は、魚の退避場（やすらぎ水路）との本川合流点にて、投網およびタモ網にて退避してきた個体数および魚種について調査しました。採捕された主要魚種は、連携排砂時と同様にアユとウグイでした。

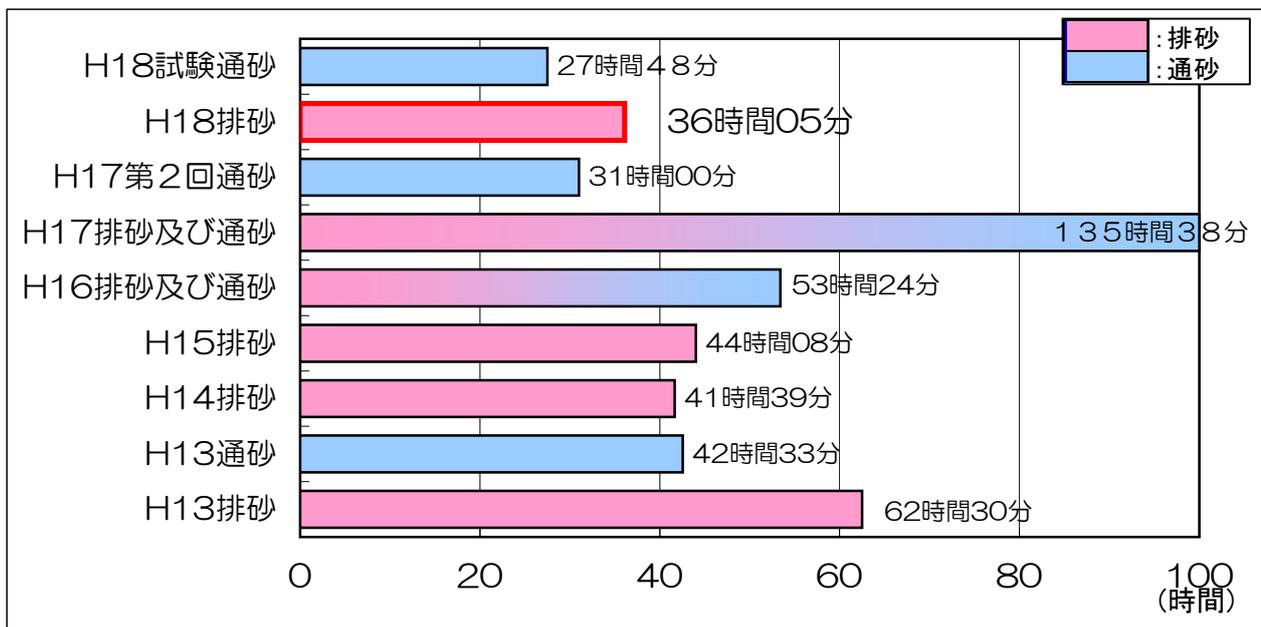
アユについては、今回も飛騨と五郎八で自然流下時に多くの個体が退避していることを確認しました。しかし、出島と浦山については、効果は確認できませんでした。また、ウグイについては、全箇所を確認しました。

なお、この要因については、今後調査分析したいと考えています。

【資料－3】

## 連携排砂における愛本合口堰堤取水停止時間

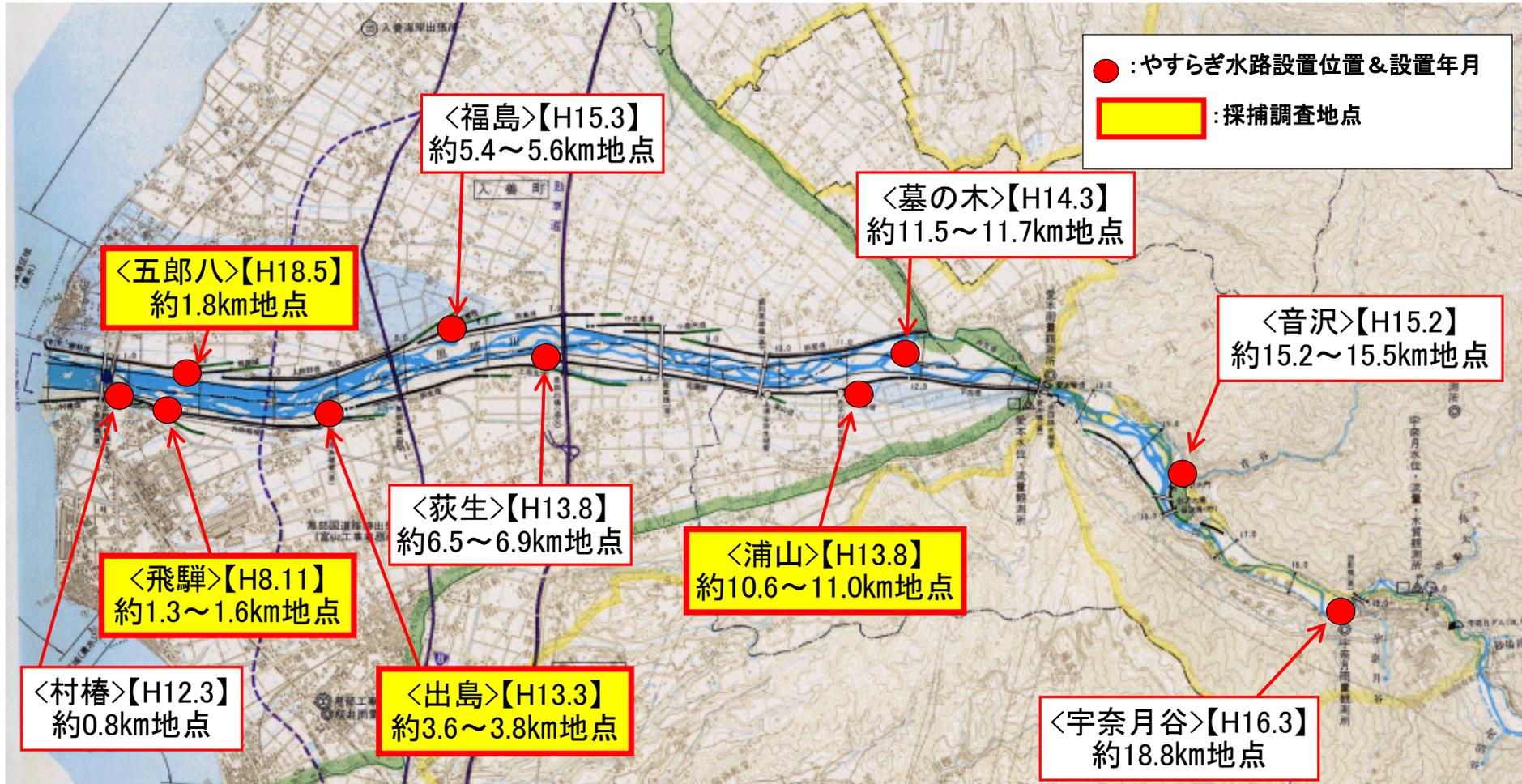
平成13年度からの連携排砂・通砂の開始以来、  
取水停止時間が過去最短の長さ27時間48分で終了



	取水停止時間	備考
H13排砂	62時間30分	
H13通砂	42時間33分	
H14排砂	41時間39分	
H15排砂	44時間08分	
H16排砂及び通砂	53時間24分	
H17排砂及び通砂	135時間38分	一時取水再開有
H17第2回通砂	31時間00分	
H18排砂	36時間05分	
H18試験通砂	27時間48分	

やすらぎ水路内魚類調査:位置図

資料-2



魚の退避場(やすらぎ水路)調査結果一覧表(速報値)

魚の退避場 地点名	調査開始時刻	黒部川の状況		魚 種 名						水 源		
				ヤマメ	アユ	ウグイ	オオヨシノボリ	シマヨシノボリ	シマウキゴリ		カジカ	小計
浦 山	2006/6/8 10:00 ~ 2006/6/8 15:30	平 水 時			66	80					146	農業用水 (排砂・通砂時は取水停止)
	2006/7/1 13:20	連携排砂	水位低下中			140	13				153	
	2006/7/2 6:40		自然流下中		4	23	1				28	
	2006/7/14 7:00	連携試験通砂	水位低下中			70	5				75	
	2006/7/14 13:00		自然流下中			29	1				30	
出 島	2006/6/8 10:45 ~ 2006/6/8 17:00	平 水 時			2						2	農業用水 (排砂・通砂時は取水停止)
	2006/7/1 14:00	連携排砂	水位低下中		18	29					47	
	2006/7/2 7:00		自然流下中		6	2					8	
	2006/7/14 6:00	連携試験通砂	水位低下中	1	21	8			1		31	
	2006/7/14 14:00		自然流下中	11		14					25	
飛 驒	2006/6/8 9:45 ~ 2006/6/8 16:05	平 水 時		5	52	1					58	農業用水 (排砂・通砂時は取水停止)
	2006/7/1 16:20	連携排砂	水位低下中		21	2					23	
	2006/7/2 8:30		自然流下中		100	9		1	3		113	
	2006/7/14 8:00	連携試験通砂	水位低下中		28						28	
	2006/7/14 17:00		自然流下中		97	11					108	
五郎八 (H18新設)	2006/6/8 11:48 ~ 2006/6/8 15:30	平 水 時									0	湧 水  平成18年6月5日設置
	2006/7/1 15:00	連携排砂	水位低下中		18	9					27	
	2006/7/2 8:45		自然流下中		128	11					139	
	2006/7/14 14:00	連携試験通砂	水位低下中		3	3		2			8	
	2006/7/14 8:00		自然流下中	1	30	95		1			127	

\*調査方法は、投網5投、10分間のたも網による採捕  
 \*投網の使用目合は、12mm、たも網は4mm  
 \*主な調査範囲は、各水路の本川合流部付近  
 \*データ表中の空欄は採捕尾数がなかったことを示す。